



2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年2月14日

上場会社名 株式会社 ワットマン

上場取引所 東

コード番号 9927 URL <http://www.wattmann.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川畑 泰史

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経理IRグループ グループ長 (氏名) 渡邊 匡 TEL 045-959-1100

四半期報告書提出予定日 2023年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	5,364	46.4	350	157.1	347	153.8	232	228.7
2022年3月期第3四半期	3,664	41.4	136	17.6	136	18.7	70	12.9

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 229百万円 (224.2%) 2022年3月期第3四半期 70百万円 (13.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	106.29	
2022年3月期第3四半期	32.54	

(注) 当社は、2022年4月1日付けで普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	4,548	2,755	60.1	1,249.42
2022年3月期	4,319	2,588	59.3	1,172.12

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 2,732百万円 2022年3月期 2,563百万円

(注) 当社は、2022年4月1日付けで普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		80.00	80.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、2022年4月1日付けで普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2022年3月期につきましては、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

期末配当につきましては、第2四半期以降の業績に応じて、2022年3月7日発表「配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」等に記載の「配当の基本方針」に従い、決定いたします

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,928	28.1	400	48.4	400	37.2	322	22.0	147.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期3Q	2,273,708 株	2022年3月期	2,273,708 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2023年3月期3Q	86,437 株	2022年3月期	86,380 株
------------	----------	----------	----------

期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期3Q	2,187,280 株	2022年3月期3Q	2,173,124 株
------------	-------------	------------	-------------

(注)当社は、2022年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期連結決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	11
(重要な後発事象)	11
3. その他	12
(1) 仕入及び販売の状況	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期における国内及び海外経済は新型コロナウイルス感染症の流行が継続し、依然として厳しい状況にあります。また、ウクライナ情勢や、北米におけるインフレとそれに伴う金融引き締めにより、物流コストの上昇や供給ひっ迫が発生し景気の下振れ懸念が続いております。一方で、このようなインフレおよび供給ひっ迫はリユース市場でのニーズの高まりを生起しております。

当社グループはこのような外部環境に対応し、前連結会計年度に引き続き成長のための体制づくりとマネジメント力の強化を積極的に進めるとともに、リユース市場でのニーズの高まりに応える事で、収益の改善に努めてまいりました。

具体的には、コア事業の成長・スピノフ事業の成長・海外事業の成長を通じたオーガニックな成長及び前連結会計年度に本格化したインオーガニック事業成長を進めました。

営業政策面では、前連結会計年度に引き続き、ネット通販の強化、専門ジャンル強化、高粗利率ジャンル強化による粗利率改善等を進めました。店舗政策面では、2022年6月に、平塚梅屋事業所・雑色事業所を移転統合した「ワットマンテック・スタイル ワットマン OSC湘南シティ店」をオープンいたしました。また、ワットマンタイランドにおいてwarehouse(倉庫)型店舗への集約を進め、2022年4月にWATTMANN Lam Luk Ka 店をオープンし、当第3四半期末時点でタイ王国内の全4店舗すべてwarehouse型となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年と比べ17億円(46.4%)増収の53億64百万円となりました。これは株式会社ホビーサーチを中心とした開閉店売上が前年同期と比べ15億6百万円(191.8%)増収の22億92百万円、および既存店売上が1億93百万円(6.7%)増収により30億72百万円となったことによります。

オーガニック事業における商品カテゴリー別売上高は、電化製品等が前年と比べ53百万円(9.0%)増収の6億44百万円、服飾等が1億27百万円(14.0%)増収の10億40百万円、パッケージメディア(本・CD/DVD・ゲーム)が45百万円(6.7%)減収の6億39百万円、ホビーが専門業態(ワットマンホビー・ゲームステーション(GS))のスタートにより98百万円(22.2%)増収の5億43百万円、その他は各種専門業態(ワットマンSC(スポ・キャン)・ワットマンカメラ)のスタート等により82百万円(18.2%)増収の5億40百万円となりました。

またホビーサーチにおける商品カテゴリー別売上高は、ホビーが前年と比べ13億82百万円(240.3%)増収の19億57百万円となりました。

売上総利益は、売上増収に伴い前年と比べ4億12百万円(19.8%)増益の24億87百万円、売上総利益率46.4%となりました。既存店は80百万円(4.4%)増益の19億31百万円、開閉店は3億31百万円(147.3%)増益の5億56百万円となりました。

オーガニック事業における商品カテゴリー別の売上総利益については、電化製品等が前年と比べ44百万円(11.6%)増益の4億28百万円、服飾等が57百万円(9.9%)増益の6億32百万円、パッケージメディア(本・CD/DVD・ゲーム)が26百万円(5.9%)減益の4億17百万円、ホビーが29百万円(14.1%)増益の2億38百万円、その他は33百万円(9.3%)増益の3億98百万円となりました。

またホビーサーチにおける商品カテゴリー別売上総利益は、ホビーが前年と比べ2億73百万円(273.1%)増益の3億73百万円となりました。

販売費及び一般管理費においては、前年同期に計上されたM&A費用が減少したものの、主にホビーサーチ社連結による経費増加により、前年と比べ1億97百万円(10.2%)増加し21億37百万円となりました。既存店では27百万円(1.7%)増加し16億85百万円、開閉店では主に上述のホビーサーチ社連結等により1億70百万円(60.5%)増加の4億52百万円となりました。

上記の結果、営業利益は、前年と比べ2億14百万円(157.1%)増益の3億50百万円となりました。既存店は53百万円(27.5%)増益の営業利益2億46百万円、開閉店は1億60百万円増益の営業利益1億4百万円となりました。経常損益は前年同期と比べて2億10百万円(153.8%)増益の3億47百万円となりました。

経常利益以下については、平塚梅屋事業所立退等に伴う受取補償金45百万円の計上により、税金等調整前四半期純利益が前年と比べ2億39百万円(162.6%)増益の3億86百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億61百万円(228.7%)増益の2億32百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①リユース事業

リユース事業セグメントにおいてはタイ王国と国内の新店開店と既存店増収により、外部顧客への売上高は前年に

比べ3億16百万円(前年比110.3%)増収の34億6百万円、セグメント利益は売上増加により前年に比べ69百万円(前年比140.0%)増益の2億42百万円となりました。

②新品EC事業

新品EC事業においては外部顧客への売上高は前年に比べ13億82百万円(前年比340.3%)増収の19億57百万円、セグメント利益は前年に比べ1億44百万円増益の1億8百万円となりました。

なお、上記記述においては2021年3月以前より同一業態で営業中の事業所を既存店、その他事業所を開閉店としております。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、31億24百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億57百万円増加しております。

これは、現金及び預金が1億98百万円、商品が1億41百万円増加したことなどが主な要因であります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、14億23百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億29百万円減少しております。これは、敷金及び保証金が80百万円、のれんが21百万円減少したことなどが主な要因であります。

この結果、総資産は45億48百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億28百万円の増加となりました。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、12億77百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億24百万円増加しております。

これは、買掛金が82百万円、未払法人税等が76百万円、その他流動負債が82百万円それぞれ増加したこと等が主な要因であります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は5億14百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億64百万円減少しております。

これは、長期借入金が92百万円、その他固定負債が76百万円減少したことなどが主な要因であります。

この結果、負債合計は17億92百万円となり、前連結会計年度末に比べ60百万円の増加となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、27億55百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億67百万円増加しております。

これは、親会社株主に帰属する四半期純利益が2億32百万円計上されたこと、配当金が87百万円あったこと等により利益剰余金が1億45百万円増加したことが主な要因であります。

これらの結果、自己資本比率が60.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,494,746	1,693,390
売掛金	195,288	233,209
商品	905,688	1,046,757
その他	170,874	150,862
流動資産合計	2,766,598	3,124,220
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	148,745	131,027
土地	382,457	382,457
その他	66,230	59,211
有形固定資産合計	597,432	572,696
無形固定資産		
のれん	275,646	253,884
その他	11,017	11,055
無形固定資産合計	286,663	264,940
投資その他の資産		
投資有価証券	5,058	2,063
敷金及び保証金	486,331	405,627
その他	177,874	178,510
投資その他の資産合計	669,265	586,201
固定資産合計	1,553,361	1,423,838
資産合計	4,319,960	4,548,058
負債の部		
流動負債		
買掛金	266,250	349,061
短期借入金	68,600	76,200
1年内返済予定の長期借入金	141,280	130,958
未払法人税等	51,095	128,054
賞与引当金	30,490	16,324
契約負債	29,790	28,505
その他	465,660	548,444
流動負債合計	1,053,167	1,277,548
固定負債		
長期借入金	554,032	461,669
退職給付に係る負債	35,205	40,018
その他	89,468	12,950
固定負債合計	678,706	514,637
負債合計	1,731,874	1,792,186

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	1,381,380	1,406,905
利益剰余金	879,107	1,024,116
自己株式	△101,390	△101,468
株主資本合計	2,659,097	2,829,553
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	868	617
土地再評価差額金	△95,726	△95,726
為替換算調整勘定	△421	△1,606
その他の包括利益累計額合計	△95,279	△96,715
非支配株主持分	24,267	23,033
純資産合計	2,588,085	2,755,872
負債純資産合計	4,319,960	4,548,058

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	3,664,360	5,364,446
売上原価	1,588,610	2,876,682
売上総利益	2,075,749	2,487,764
販売費及び一般管理費	1,939,397	2,137,252
営業利益	136,352	350,512
営業外収益		
受取利息	1,073	215
受取配当金	63	86
受取手数料	6,251	7,120
受取解決金	-	3,238
その他	2,374	2,155
営業外収益合計	9,763	12,817
営業外費用		
支払利息	2,992	3,532
長期前払費用償却	4,042	2,188
為替差損	1,964	9,680
その他	135	297
営業外費用合計	9,135	15,699
経常利益	136,979	347,630
特別利益		
保険差益	331	94
補助金収入	15,800	-
投資有価証券売却益	-	1,815
受取補償金	-	45,512
固定資産売却益	1,359	58
特別利益合計	17,491	47,480
特別損失		
投資有価証券売却損	-	49
固定資産除却損	-	2,277
減損損失	7,422	1,639
店舗閉鎖損失	-	5,036
特別損失合計	7,422	9,002
税金等調整前四半期純利益	147,048	386,108
法人税等	76,319	153,606
四半期純利益	70,728	232,502
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	70,728	232,502

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	70,728	232,502
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△183	△250
為替換算調整勘定	336	△2,419
その他の包括利益合計	153	△2,670
四半期包括利益	70,882	229,831
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	70,710	231,066
非支配株主に係る四半期包括利益	171	△1,234

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計
	リユース事業	新品EC事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,089,722	574,637	3,664,360	—	3,664,360
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	740	740	—	740
計	3,089,722	575,378	3,665,100	—	3,665,100
セグメント利益又は損失(△)	173,058	△36,599	136,459	—	136,459

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	136,459
「その他」の区分の利益	—
セグメント間取引消去	△106
全社費用(注)	—
棚卸資産の調整額	—
四半期連結損益計算書の営業利益	136,352

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計
	リユース事業	新品EC事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,406,637	1,957,809	5,364,446	—	5,364,446
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	359	359	—	359
計	3,406,637	1,958,168	5,364,806	—	5,364,806
セグメント利益	242,341	108,108	350,449	—	350,449

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	350,449
「その他」の区分の利益	—
セグメント間取引消去	62
全社費用(注)	—
棚卸資産の調整額	—
四半期連結損益計算書の営業利益	350,512

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの変更)

前第3四半期連結会計期間より、事業セグメントの区分方法を見直し、報告セグメントを従来の「リユース事業」単一セグメントから、「リユース事業」「新品EC事業」に変更しております。

(報告セグメントに属する主要な製品及びサービス)

「リユース事業」セグメントに区分される事業は、従前同様にリユース商品中心の国内2都県およびタイ王国の店舗販売及びネット販売事業です。

「新品EC事業」セグメントに区分される事業は、新品商品中心の自社ECサイト販売事業です。

(収益認識関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント		その他	合計
	リユース事業	新品EC事業		
ワットマンスタイル業態	1,158,550	—	—	1,158,550
ワットマンテック業態	700,207	—	—	700,207
ブックオフ業態	672,977	—	—	672,977
ホビー関連業態	314,212	574,637	—	888,850
カウマン業態	44,895	—	—	44,895
Warehouse Store(タイ)	85,049	—	—	85,049
その他	113,828	—	—	113,828
顧客との契約から生じる収益	3,089,722	574,637	—	3,664,360
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	3,089,722	574,637	—	3,664,360

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント		その他	合計
	リユース事業	新品EC事業		
ワットマンスタイル業態	1,298,591	—	—	1,298,591
ワットマンテック業態	761,789	—	—	761,789
ブックオフ業態	651,423	—	—	651,423
ホビー関連業態	379,261	1,957,809	—	2,337,070
カウマン業態	49,297	—	—	49,297
Warehouse Store(タイ)	131,711	—	—	131,711
その他	134,561	—	—	134,561
顧客との契約から生じる収益	3,406,637	1,957,809	—	5,364,446
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	3,406,637	1,957,809	—	5,364,446

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. その他

(1) 仕入及び販売の状況

1. 商品仕入実績

当第3四半期連結累計期間における商品仕入実績は、次のとおりであります。

事業	品目	金額(千円)	構成比(%)	前年同期比(%)
オーガニック事業	電化製品等	216,053	15.9	△2.7
	服飾等	414,962	30.6	13.7
	パッケージメディア	226,607	16.7	△6.4
	ホビー	374,964	27.6	26.7
	その他	124,302	9.2	13.4
合計		1,356,889	100.0	9.9
ホビーサーチ	ホビー	1,653,266	100.0	235.4
合計		1,653,266	100.0	235.4
総合計		3,010,155	—	74.3

(注) 1 金額は仕入価格によっております。

2 パッケージメディアは本、CD/DVD、ゲーム全般から構成されております。

2. 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績は、次のとおりであります。

事業	品目	金額(千円)	構成比(%)	前年同期比(%)
オーガニック事業	電化製品等	644,303	18.9	9.0
	服飾等	1,040,204	30.5	14.0
	パッケージメディア	639,040	18.8	△6.7
	ホビー	543,024	15.9	22.2
	その他	540,065	15.9	18.2
合計		3,406,637	100.0	10.3
ホビーサーチ	ホビー	1,957,809	100.0	240.7
合計		1,957,809	100.0	240.7
総合計		5,364,446	—	46.4

(注) 1 金額は販売価格によっております。

2 パッケージメディアは本、CD/DVD、ゲーム全般から構成されております。